

学びの内容・評価のめやす

教科目標	「美術の多様な表現方法や表現形式を理解し、その良さや美しさを生かして、考えてることや想像の世界を広げ自分らしい心豊かな表現ができるように支援する。」				主な評価資料					
	重点目標:ものの方、感じ方を深め、本質を感じ取る感性を養い、日常生活に生かせる創意工夫ができる能力の向上を支援する。				人物 クロッキー	絵画・ 心象風景	ペーパー ナイフ	美術ビデオ鑑賞	期末 テスト 後期	
主な学習内容	木彫ペーパーナイフ	堆朱工芸	期末テスト後期	美術ビデオ鑑賞						
月	9～11月	12～2月	9月	4～3月						
観点	評価規準									
美術への 関心・意欲 ・態度	B 規 準	・身近にある造形物に関心を持ち、その良さや、役割、美しさを 感じ取ろうとしている。 ・自分らしく、より良い作品を目指して 工夫しようとしている。	・意欲をもって造形活動を追究 しようと努力している。 ・自分らしい表現をめざして 工夫しようとしている。	・既存の学習から 美術の基本的な事柄を 学ぼうとする。	・映像作品を見ることで、 社会の中での美術に 関心をもつことができる。 ・美術についての根源的興味を持ち 美術とそうでないものの違いについて 関心をもつことができる。	○	◎	◎	○	◎
	A の 姿	・意欲をもって造形活動を完成まで追及している。 ・身近にある造形物に関心を持ち、 その良さや、役割、美しさをより深く 感じ取ろうとしている。 ・自分らしく、より良い作品を目指して 工夫しようとしている。	・意欲をもって造形活動を完成まで追及している。 ・自分らしい表現をめざし、 主体的かつ 積極的 に工夫して取り組んでいる。	・既存の学習から 美術の基本的な事柄を 意欲的に 学ぼうとする。	・映像作品を見ることで、 社会の中での美術の 理解を深めよう としている。 ・美術についての根源的興味を持ち 美術とそうでないものの違いについて 自分の視点をもって 追求している。					
発想や構想の 能力	B 規 準	・素材の性質を理解し、道具としての機 使う人に優しいかたちを発想できる。	・単純化や省略、強調 構成の仕方などを工夫して 自分らしさを加えたかたちを 発想することができる。			○	◎	◎		
	A の 姿	・素材の性質を確実に理解し、 道具としての機能に使う人に優しい かたちを 明確 に構想できる。	・単純化や省略、強調 構成の仕方などを工夫して 自分らしさを加えたかたちを 明確な構想 として練ることができる。							
創造的な 技能	B 規 準	・材料の持つ性質を理解し、道具の使い 基礎的機能を身につけることができる。 ・色や形の効果を生かした表現ができる。	・素材の性質を理解し、道具の使い方の 技能を身につけ、かたちや色の効果を 生かした表現ができる。			○	◎	◎		
	A の 姿	・材料の持つ性質を理解し、 確実に 道具の使い方の基礎的機能を 身につけることができる。 ・色や形の効果を生かした 独創的な表現 ができる。	・素材の性質を理解し、 確実に 道具の使い方の技能を身につけ、 かたちや色の効果に こだわった表現 ができる。 ・ 表現意図に基づいた独創的な工夫 ができる。							
観賞の能力	B 規 準	・生活の中の工芸品に目を向け、 その役割や美しさをかんじることができ る。 ・作品の良さや工夫を発見し、 それを説明することができる。	・自分の作品の意図を理解した上で その良さを説明することができる。 ・他の人の作品の良さや工夫を 発見し、それを説明することが できる。	・既存の学習で 学んだ事柄を自分の 言葉で理解できている。	・感性や想像力を働かせて作者の意図や 表現の工夫などを感じ取ることができる。 また、それを説明する事ができる。					
	A の 姿	・生活の中の工芸品に目を向け、 多様な見方 でその役割や美しさを 感じ取ることができる。 ・作品の良さや工夫を発見し、 それを 明確 に説明することができる。	・自分の作品の意図を理解した上で その良さを 明確 に説明することができる。 ・ 既習の学習に基づいて 他の人の作品の 良さや工夫を発見し、それを説明する ことができる。	・既存の学習で 学んだ事柄を自分の 言葉で 深く 理解できている。	・感性や想像力を働かせて作者の意図や 表現の工夫などを 深く 感じ取ることが できる。 また、それを 明確 に説明する事が できる。		◎	◎	◎	◎